

新医療センター建設事業の現況に関し市長に市民への説明を求める陳情

【願意】

新医療センター建設に関し、入札不調を受けての今後の方針・対策・資金計画について市長による説明会を開催し、その日程を「広報ふなばし」表紙で市民に告知することを要望し陳情します。

【理由】

新医療センター入札工事の不調が明らかとなつてほぼ1年が経過し、市においては当然に今後の方針・対策の検討を済ましているはずですが。

入札不調後1年そして市長再選後3か月となる今秋、市議会第3回定例会終了後の時期に市長による市民説明会を開催することとし、その告知を「広報ふなばし」の表紙で行うことを求めます。

市民は新病院 NewsNo.9 において、医療センター移転新築事業費総額約 888 億円のうち市民負担は 277 億円にとどまると市より説明されています。

しかし病院事業会計の令和 6 年度決算・令和 7 年度予算はいずれも大幅赤字で借入金返済能力は全くなく、市民負担は交付税を除く 709 億円となります。

市議会第 2 回定例会の副病院局長の答弁によれば、市は、本年 1 月の段階でこの事実を把握しています。

しかるにその後発行された新病院 NewsNo.10 においても、市長答弁においても事業費の半分以上を病院が負担するとの説明が繰り返されました。

結果として市長は、新医療センター建設事業資金の市民負担が 709 億円となる事実を市民に説明せぬまま選挙に臨み当選しました。市民を欺いたも同然です。

静岡県伊東市では市長の市長選挙における学歴詐称がマスコミを大きく賑わしています。

しかし、東洋大学卒業であれ除籍であれ、東洋大学に合格する学力があったことに変わりなく、伊東市の市民・市政に然程影響を与えるものではないともいえます。

しかし、新病院建設事業の市民負担が 277 億円なのか現時点において約 709 億円で今後さらに膨らむものなのかは、今後市民・市政に大きく影響を与えるもので、その点で市民を欺いたまま当選したことは許されるものではないと考えます。

将来の市民・市政に大きな影響を与える巨大事業をすすめるにあたって、まずは市長自身の口から市民に正確に事実を伝えることを求め陳情します。

以上